

令和7年度指定管理業務に関する事業報告書（地域包括支援センター）

センター名 島原地域包括支援センター

1 施設の管理運営

【開所日及び開所時間等】

月～金 午前9時から午後5時まで

休業時間・休業日の緊急時には担当者に連絡できる体制をとっている。

【事業実施地域】

下京区 郁文学区、淳風学区、光徳学区、七条第三学区

2 事業実施内容

①地域包括の役割・介護予防サービスについて周知活動を継続して実施している。

②地域ケア会議を開催し、共にネットワーク内で困難ケースを乗り切っていく関係構築が維持できるように努力した。

③郁文・淳風・光徳・七条第三学区の地域福祉員との連携や、要援護高齢者の実態把握に努めている。

④七条第三学区、郁文学区では、介護保険事業所や下京区社会福祉協議会と連携会議を行ったのちに学区単位の地域ケア会議に出席し取り組んでいる。居場所作の運営、小学生対象の認知症啓発など。

3 サービス提供状況

センター長1名（主任介護支援専門員と兼務）

保健師1名

社会福祉士3名

介護支援専門員 1 名 合計6名

4 市内中小企業への発注に対する考え方

第三者への委託は行っていない。

5 施設の利用状況（施設の稼働率、利用者数、事業参加者数など）

(1) 介護予防支援給付対象者数（実績値）

2959 人

(2) 相談延べ件数（実績値）

685 件

(3) 収支実績

ア 令和7年度収入状況（単位：円）

委託料	26,761,800
介護保険収入	14,807,987
その他	397,542
収入計	41,967,329

イ 令和7年度支出状況（単位：円）

人件費	34,154,771
事業費	146,740
委託費	5,111,950
小額修繕費	19,110
その他	691,787
支出計	40,124,358

6 施設の利用者満足度の把握

(1) 利用者満足度の把握状況

健康教室 島原楽楽広場は、年5回開催。開催終了後に参加者全員の満足度アンケートを実施しニーズの把握を行っている。

(2) 利用者満足度把握の結果

健康教室楽楽広場でアンケート実施結果。リフレッシュ度は90点が多い。その他の感想では、今後も継続して欲しい、毎月開催してほしいとなど、体を動かしたい・筋トレしたい、人と会う機会や介護予防の取り組みは必要という回答が多かった。

(3) 意見等への主な対応状況

介護予防推進センターを紹介。介護保険外の集いや運動教室・朝の公園体操など案内した。参加者同士が交流できる内容であることや、フレイル予防等の役立つ知識をゲスト講師を招いて充実させた。音楽を楽しむ回であっても必ず筋トレを取り入れている。

7 評価（指定管理者自己評価）

介護予防教室 島原楽楽広場は、どなたでも参加できるをもっとうに開催しており、圏域のグループホームの入居者も参加されている。
七条第三小学校や光徳小学校では、三年生を対象に認知症サポーター講座や高齢者の疑似体験を地域の介護サービス事業所や医療関係と協働し実施できた。島原認知症カフェでは、認知症の方でも誰でも参加出来るようにした。カフェでは認知症高齢者がウエイトレス役をしてくださった。
七三学区・郁文学区では介護保険事業所を招集し、地域課題に向けた取り組みを継続している。
七三学区では、学区の敬老会で介護相談窓口の周知。郁文学区内で、4か所で居場所を開催した。いずれも今年度も継続しているところである。障害を理由とする差別解消に向けた取り組みを実践している。